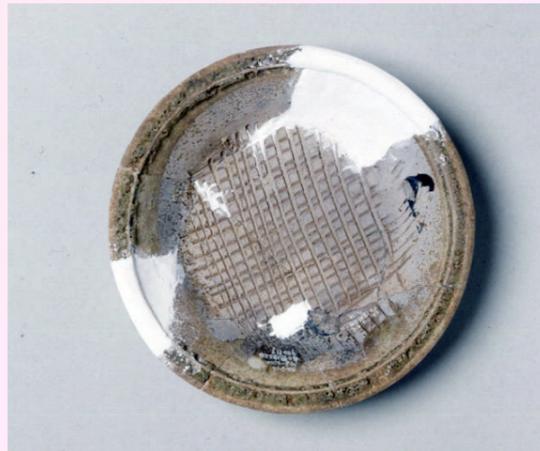


## ほっぷく 平泉寺こぼれ話

～第14話～

### 平泉寺出土品 (その2)

これは何に使われたものでしょうか？



平泉寺の発掘調査では、上の写真のようなお皿がよく出土します。皿の内面には、格子目状に刻みが入れています。

【答え】おろし皿です。これは15世紀頃に瀬戸地方でつくられたものです。

## 世界遺産へ向けて

世界遺産を共に提案する岐阜県郡上市にて『白山文化フォーラム』が開催されます

11月29日(日)午後1時から、郡上市総合文化センターにて、「長滝に息づく白山への想い」というテーマで行われます。

第一部は、「白洲正子と白山信仰」と題して、白洲次郎・正子夫妻のお孫さんにあたる白洲信哉氏(文筆家・プロデューサー)の講演が行われます。第二部は、郡上市白鳥町の長滝白山神社に伝わり、国の重要無形文化財に指定されております「長滝の延年」について、白山文化博物館学芸員藤原洋氏の解説と、保存会による上演があります。中世以来のかたちを今に伝えているといわれる芸能にふれてみませんか。

お問い合わせは、郡上市教育委員会社会教育課(TEL:0575-67-1128)まで。

## 西蓮院及び下の園地整備工事と僧坊区画整備工事開始のお知らせ

11月おわりごろより来年の3月まで、南谷東側の発掘現場では、今年度の総合整備に関連する工事が行われます。

今年度の整備工事は、まず、西蓮院とその下の園地整備を本格的に開始し、万が一の豪雨の際に、大量の雨水が流れないように備えます。また、平成16年度に調査したお坊さんの屋敷跡の整備も行います。水田の下から出てきた石垣や石畳道を修復し、シートでおおわれたままであったものを見学できるようにします。

期間中、工事車両が集落内を通ります。ご迷惑をおかけいたしますが、どうぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

国史跡平泉寺の整備情報誌

# 平泉寺かわら版

No.14 (2009年11月号)

【発行】

勝山市教育委員会史蹟整備課

【発行日】

平成21年11月26日

【ご意見・ご要望は下記まで】

電話:0779-88-8113(直通)

メール:shiseki@city.katsuyama.fukui.jp

### 今号の内容

◎白山文化フォーラム2009

◎おすすめ！白山信仰の本

### 連載

◎平泉寺こぼれ話～第14話～

◎発掘現場通信

◎世界遺産へ向けて

## 白山・平泉寺の風景—白山文化フォーラム2009—

### 山岳エッセイスト 増永迪男氏の講演

先月号にひきつづき、「白山文化フォーラム2009」をご紹介します。当日は、市内外から約100名の方が参加され、トークと対談に耳をかたむけました。

今回は、山岳エッセイスト 増永迪男氏 の講演を特集します。

#### ◆ 白山は89番目の山 しかし、唯一の山

白山は日本三名山の一つに数えられているが、高さ的には89番目の山である。しかし、白山にしか無い特徴がある。それは、日本海側からも太平洋側からも見ることができることだ。

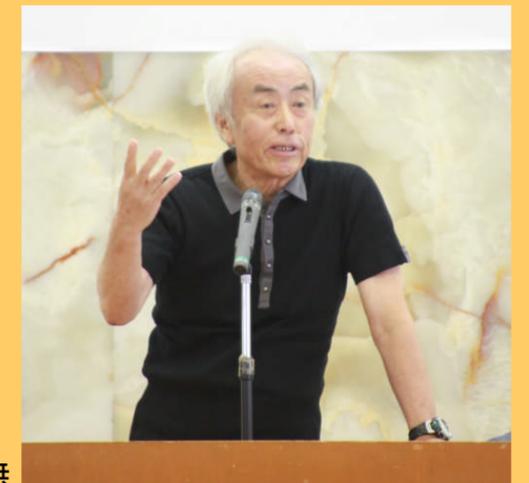
これは、富士山や槍ヶ岳、立山でもなしえなかったことだ。

#### ◆ 白山は有るようで無い山、無いようで有る山

白山に登るとわかることだが、頂上には大汝山、御前峰、別山という名前がついている。白山はこれらの山の総称であり、広い地域をさす。だから、白山は有るようで無い山、無いようで有る山なのである。

#### ◆ 昔は白山山頂から美濃が見えた

元禄時代に白山の山頂に登った越前の武士、野路汝謙のじよけんは、山頂から美濃が見えたと言っている。私は何度か白山に登っているが、美濃は見たことが無い。昔は空気が澄んでいたのだろう。



増永迪男氏



法恩寺山から望む白山

# 白山・平泉寺の風景

白山文化フォーラム2009

(1ページから続く)

## ◆ 水分(みくまり)の山 白山

白山から流れ出る大河は、日本海側では、越前平野をうるおす九頭竜川、加賀平野をうるおす手取川、越中平野をうるおす庄川がある。

一方、太平洋側では、濃尾平野をうるおす長良川がある。白山から流れ出す河川がうるおす平野の面積は、日本一ではないか。

## ◆ 全国に2,716社

白山神社は全国に2,716社もある。一番多いのは岐阜県で五百余社である。白山社が全国的に多いのは、白山から流れ出る河川流域に大きな平野をもつからであろう。富士山や立山の神社が全国にそれほど広がっていないのと比べると、白山信仰の特徴が見えてくる。



法恩寺山から福井平野を望む



## おすすめ!白山信仰の本

この本、よんでみね~の!

白山比咩神社編『白山信仰』



この本は、石川県白山市の鶴来にあります白山比咩神社の歴史をまとめたものです。白山比咩神社は、白山の加賀側の拠点加賀馬場、白山寺・白山本宮として古代・中世以来栄えた寺社です。この本の特色は、写真がたくさん入っていて、見開きでひとつのテ



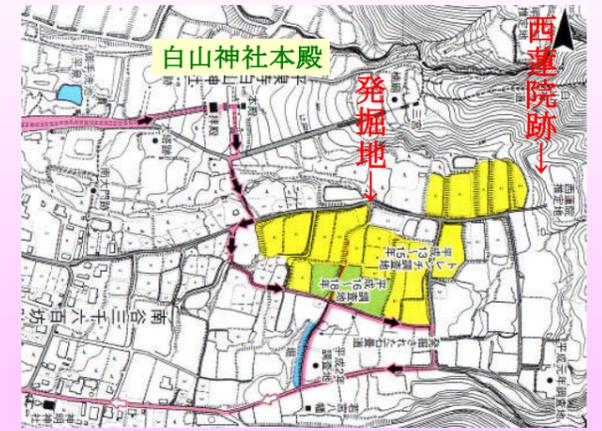
ーマのものが読みやように工夫されているところです。また、白山比咩神社の歴史を中心に、美濃馬場・越前馬場のこと、さらには全国に2,700もの白山神社があることから、全国各地の白山信仰についても取り上げています。

## 発掘現場通信

~調査のポイント~

### 西蓮院下の水路工事にともなう発掘調査

今年度の主な発掘調査は3か所行っております。ひとつ目は、かわら版No.12(本年9月号)にてご紹介した門・土塀復元予定地です。白山文化フォーラムの午前中に現地で説明会を行いました。



左の写真は調査前のものです。近年積まれた石垣があって、水路がせまくなっています。



下の写真は、近年積まれた石垣をはずしているところです。奥の方に中世の石垣が残っているようです。

今月号は、西蓮院下の水路工事にともなう発掘調査をご紹介します。

この調査地点は、近年の石垣があって、水路をせばめており、水が流れにくく、横を通る道を荒らしてきました。そこで、発掘調査をおこなって、水路を広げることができるかどうか確認しました。



大きな石は、坊院(僧侶の屋敷)をかこむ石垣の角石のようです。この部分に集中的に大型の石が積まれていました。



調査の結果、奥に中世の石垣が残っていることがわかりました。

新しくつくる水路は、中世の石垣をうまく使いながら整備を行いたいと考えています。